

令和5年8月吉日

会員各位 殿

福岡県慢性期医療協会会長 中尾一久

福岡県慢性期医療協会会員医療機関へのお願い

～コロナ患者の入院受入れ拡充について～

当協会の会員の医療機関におかれましては、日頃より発熱外来を含むコロナ患者の診療並びに入院加療にご尽力を賜り誠にありがとうございます。

現在福岡県内におきましてコロナ患者が急増し、軽症者以上の患者が1,000人を超え、元来中等度Ⅱ以上の患者を診るべき重点医療機関に軽症・中等症Ⅰの患者が約半数入院しています。そのため7/28より病床確保計画のフェーズが2から5へ移行しましたが、県内各地の定点観測値が10を超えて、第9波の到来の兆候があります。

当協会会員医療機関におきましては、従来より軽症のコロナ患者及びポストコロナ患者（急性期医療機関でのコロナ治療後）の入院加療をお願いしておりました。コロナ患者の入院受入れ医療機関は7/27時点で311機関であり、当協会会員の約半数の医療機関（約30医療機関）ですでに実施して頂いておりますが、現状のコロナ受入れ病床では今後の対応ができない状態が予想されます。そのために**7月末までを確保期間としている軽症・中等症Ⅰの患者に対する病床について、確保期間を8月末までに延長することになりました。**つきましては、当協会会員医療機関で未だコロナ患者の入院受入れ医療機関でない会員医療機関におかれましては、是非各郡市区医師会を通して入院受入れ医療機関の手続きをお願いいたします。特に高齢者の軽症コロナ患者を診るのは、我々福慢協の会員医療機関が得意とするところだと思っておりますので、重ねて宜しくお願いいたします。

尚詳細は当協会のホームページに掲載しておりますのでご一読頂きますようお願い申し上げます。